

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
8	消防費	1 消防費	020415	芽室消防署活動事業
		1 とち広域消防事務組合費		

事務事業名 芽室消防署活動事業

## (1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>消防組織法第11条第1項の規定に基づき、西十勝消防組合消防本部及び消防署の設置等に関する条例が昭和44年3月に制定される。その後、西十勝消防組合が解散となり、とち広域消防事務組合が組織され、同設置等に関する条例が平成27年5月に定められた。</p> <p>消防本部及び消防署が設置され、火災の予防、警防活動、救急業務の能率的な運営が図られている。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民</li> <li>・各事業所</li> <li>・消防庁舎</li> </ul>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化する各種災害に対し活動体制や施設を整備し、災害に強いまちづくりを推進するため、災害発生件数の減少、救命率の向上、庁舎設備性能の低下防止。</li> </ul>

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>自然災害をはじめ、火災や複雑多様化する様々な災害に対応する高度な消防体制を充実させるため、各種装備や資機材を計画的に更新し、町民の生命、身体及び財産を災害から守ることを目的とする。救急業務はもとより、救命講習会を通じて応急手当の必要性や重要性を理解していただき、救命率の向上を図る。</p> <p>消防庁舎は防災拠点となるため、庁舎の保守点検を行い設備性能の保持を図る。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>複雑多様化する災害に対応するためには、災害現場における安全装備品の充実が不可欠とできない。消防隊員用空気呼吸器、空気ポンプを継続して更新する。</p> <p>応急手当の必要性や重要性を広くPRすることにより、救命講習会への受講者の増加が見込まれる。また、再講習により高度な知識を身につけていただき、救命率の向上を図る。</p> <p>庁舎設備性能の低下防止するため、定期的な保守点検を行い、設備性能の保持を図る。</p>

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	32,908,000	28,501,000	31,867,000
		事業費計(A)	円	32,908,000	28,501,000	31,867,000
	人件費	正職員従事人数	人	34	35	36
		人工数(業務量)	人工			
人件費計(B)		円				
		トータルコスト(A+B)	円	32,908,000	28,501,000	
活動指標						

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 消防署に要した主な費用

・報償費 150,000 円

・旅費 404,690 円

・交際費 10,000 円

・需用費 13,728,339 円

↳ 消耗品費 5,442,950 円

↳ 事務用・庁舎用消耗品、車両・器材関係消耗品、被服、図書費

↳ 燃料費 3,467,813 円

↳ 暖房用重油 2,855,600 円、車両用燃料 568,036 円、プロパンガス 37,246 円、転院搬送(芽室⇄札幌) 6,931 円

↳ 食糧費 26,852 円

↳ 印刷製本費 25,739 円

↳ 光熱水費 2,634,084 円

↳ 庁舎及びサイレン設備電気料 2,337,258円、上下水道料 296,826 円

↳ 修繕料 841,330 円

↳ 庁舎設備・車両器材等修理、車検・整備代金

↳ 医薬材料 1,289,571 円

↳ 救急・常備医薬品、救急用酸素充填料

・役務費 2,919,954 円

↳ 通信運搬費 1,218,416 円

↳ Bフレッツ回線料、各種電話通話料、衛星電話料、AVM通信料、郵便料、トークメール使用料

↳ 広告料 19,712 円

↳ 手数料 1,267,236 円

↳ 高圧ガス充填料、高圧ガス容器点検・検査手数料等、各種資機材点検手数料、車両法定点検・車検代行料、タイヤ交換料

↳ 洗濯料、一般廃棄物処理料、ボンベ廃棄手数料、各種振込手数料

↳ 保険料 414,590 円

↳ 自動車損害共済基金分担金、自賠償保険料、救命士保険

・委託料 2,462,247 円

↳ 救急業務事後検証委託料、庁舎設備等保守点検、容器委託管理契約料、職員健康診断委託料、B型肝炎検査等委託料

↳ インフルエンザ予防接種、産業・感染性廃棄物処理委託料、消防局バッグ配送

・使用料及び賃借料 1,174,521 円

↳ リース料、コピー機パフォーマンス料、放送受信料、高速道路使用料

・備品購入費 4,291,618 円

↳ 懸垂幕 74,800 円、レーザー距離計 26,995 円、事務用イス 24,200 円、スチールロッカー 87,450 円、事務所書棚 610,500 円

↳ 広報風船用コンプレッサー 27,500 円、BT-03オゾン発生器 526,680 円、BT-088オゾン発生器 1,149,500 円、救命胴衣 59,400 円

↳ 高圧空気容器4本 770,000 円、水利点検用資器材 206,800 円、60・50・45mmホース20本 688,600 円、ストーブ 39,193 円

・負担金補助及び交付金 1,075,900 円

↳ 市町村福祉協会負担金、各種研修会負担金等)

・公課費 254,600 円

↳ 自動車重量税(指揮1、救急2、芽室2号)

## とちか広域消防事務組合決算内訳

## 歳入

芽室町負担金	28,501,000 円
消防手数料	300,000 円
預金利子	1,000 円
予備費	100,000 円
補正	3,565,000 円
計	32,467,000 円

## 歳出

決算額	26,471,869 円
-----	--------------

繰越金	5,995,131 円
-----	-------------

## 事務事業の成果に関する説明

## 2 災害活動状況

## (1) 火災

- ・令和2年度中の火災は14件で、前年度(8件)と6件増となっている。  
(内訳 建物火災7件・車両火災2件・林野火災0件・その他5件)

## (2) 救急

- ・令和2年度中の救急出動件数は705件(対前年度9件増)、搬送人員663人(対前年度13人減)。  
出動内訳は急病(65%)・転院搬送(10%)・一般負傷(10%)・交通事故(10%)・労働災害(2%)  
自損行為(1%)・運動競技(1%)・火災、自然災害、加害、医師搬送、その他(1%)になっている。

## (2) 救助

- ・令和2年度中の救助出動件数は20件で、前年度(22件)と比較すると、2件減っている。  
種別では交通事故11件、建物等の事故4件、その他5件である。

## 3 予防活動

## (1) 火災予防運動

旗設置、消防団車及び街頭放送による防火PR及び、サイレン吹鳴街頭放送による啓蒙を実施

- ・春 4月20日～4月30日(11日間)
- ・秋 10月15日～10月31日(17日間)

## (2) 防火対象物査察 特定・非特定防火対象物数1,324施設

- ・168施設実施(実施述べ日数16日間)

## (3) 危険物施設立入検査 対象事業所数106事業所 対象危険物施設数160施設

- ・21事業所36施設実施(実施述べ日数5日間)

## (4) 危険物移動タンク貯蔵所検査 対象移動タンク貯蔵所数25施設

- ・24施設実施(実施述べ日数1日間)

## 4 消防業務処理状況

## (1) 避難訓練指導

- ・指導件数29件(学校4件 事業所25件)参加人数3,251人

## (2) 各種講習会指導

- ・防火講習会 0回 受講者 0人 派遣職員延べ0人
- ・救急講習会2回 受講者42人(救命入門コース含む)指導職員延べ4人
- ・普通救命講習会5回 受講者165人(初講習148人、再講習17人)指導職員延べ22人  
(普通救命講習修了者 延べ2,131人、上級救命講習修了者 延べ6人)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
8	消防費	1	とち広域消防事務組合費	020417	芽室消防施設整備事業

事務事業名 芽室消防施設整備事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 消防施設整備(耐震改修工事及び一部老朽改修工事の増強)、消防車両整備(消防車、資機材の更新)、救急・救助体制整備(救急車の更新・救急・救助資機材の更新)をするものです。
2. 対象(何を対象にしているか) 災害等から保護する地域住民 消防庁舎、消防車両等、各種消防資機材等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 消防施設、消防車両整備、救急・救助体制等を整えることにより、災害時の被害拡大防止を図り、地域住民の安全性を確保し各種災害による被害を軽減します。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 災害に強い安全・安心のまちづくりのため、複雑多様化するあらゆる災害現場へ対応できる能力が求められています。そのに伴い、資機材も多機能を持ち合わせた資機材へ更新していく必要があります。 本事業は、庁舎維持、消防車両や各種資機材を計画通り更新していくものです。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 消防施設整備事業としては、引き続き消防車両の更新(署化学車令和3年度、指揮車、救急2令和4年度)を行います。 実行計画ヒアリングの結果から1年先送りとなった電話機を令和4年度に更新したい。 水槽車積載の可搬ポンプに不具合が生じており、今後故障する可能性があることから令和4年度に更新したい。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2019年度	2020年度	2021年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	16,432,000		
		事業費計(A)	円	16,432,000		
	人件費	正職員従事人数	人	34	35	36
		人工数(業務量)	人工			
人件費計(B)		円				
トータルコスト(A+B)		円	16,432,000			
活動指標						

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
8	消防費	1	2	消防団費	010131	消防団運営事業

事務事業名 芽室消防団運営事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)	<p>地域住民の安心安全を確保するため、消防団は消防組織法により市町村に設けなければならない、「自分達の地域は自分達で守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域住民によって支えられる地域に密着した防災組織である。消防団員は通常、各自の職業に従事しながら各種災害で消防活動に従事するなど、地域防災の重要な役割を担っている。</p> <p>また、地域の安心安全の担い手育成を目的として、幼少年期からの防火防災教育に取り組んでいる。</p>
2. 対象(何を対象にしているか)	消防団員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)	<p>各種防災等のため知識と技術の向上を図り、常備消防(消防署)の後方支援として被害等の軽減に努めてもらう。</p>

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題	<p>地域住民の安心安全を確保するため、消防団は消防組織法により市町村に設けなければならない、「自分達の地域は自分達で守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域住民によって支えられる地域に密着した防災組織である。消防団員は通常、各自の職業に従事しながら各種災害で消防活動に従事するなど、地域防災の重要な役割を担っている。また、地域の安心安全の担い手育成を目的として、幼少年期からの防火防災教育に取り組んでいる。</p> <p>現在の消防団員数は定数に対して充足率が87%であり、災害時には一人でも多くの従事者が必要となるため、充足率を向上させたい。また、若年層の入団を促し、訓練を積み重ね防火及び防災活動向上にも努めたい。</p>
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)	<p>近年、地震や台風等の災害が多発している状況にあり、地域住民の生命及び財産を守るためにも、消防団員の装備品は欠かすことができない。多種多様化している災害に対応できるよう、装備品の充実を図っていく。</p> <p>平成29年度に購入した輸送1号の代金及び利子を令和5年度までの7年間で償還していく。</p> <p>幼年消防クラブ事業を継続的に行い、幼少年期からの防火防災教育に取り組んでいく。</p> <p>地域住民の安心安全を確保するためには、十分な団員数を確保する必要があるため、充足率100%を目標に団員募集活動の継続に努める。</p>

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2019年度	2020年度	2021年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円		438,000	
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	1,045,491	613	2,690,000
		一般財源	円	37,266,503	19,922,393	33,564,000
		事業費計(A)	円	38,311,994	20,361,006	36,254,000
	人件費	正職員従事人数	人	34	35	36
		人工数(業務量)	人工			
人件費計(B)		円				
トータルコスト(A+B)		円	38,311,994	20,361,006		
活動指標						

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
消防団車両購入事業債	円			
臨時職員労働保険個人負担金(消防団費)	円	995,491		
消防団設備整備費国庫補助金	円		438,000	
自動車損害共済返戻金	円			
寄附金管理基金繰入金	円	50,000		2,690,000
車両事故損害保険金	円			
過年度分消防学校入校負担金返還金	円		613	

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 消防団活動状況

## (1) 訓練関係

訓練内容	実施日	実施場所	参加人数
定期訓練	毎月2回(1日、15日)	芽室消防庁舎前ほか	
第1分団夜間訓練(春季)	中止		
第1分団夜間訓練(秋季)	10月27日(火)	西地区コミュニティセンター	団員47名
第2分団夜間訓練(春季)	中止		
第2分団夜間訓練(秋季)	10月26日(月)	みんなのお店KAMIBI周辺	団員16名
芽室消防団消防演習	中止		
第2分団・帯広消防署大正出張所合同訓練	中止		
消防団員教育訓練	中止		
消防団水防工法訓練	8月24日(月)	芽室町役場車輛センター・ピウカ川堤防	団員51名
消防団員技術訓練会	9月1日(火)	芽室消防庁舎南側公共駐車場	団員63名
西ブロック総合訓練	中止		
芽室町防災訓練	中止		
芽室消防団出初式	中止		

## (2) 各種研修関係

研修内容	実施日	実施場所	参加人数
第72回北海道消防大会	中止		
女性消防団員研修会	中止		
消防団員指導員研修	中止		

## (3) 火災予防関係

- ・春 4月20日～4月30日(11日間) ・幟設置、街頭放送による防火PR及びポスター等の配布
- ・秋 10月15日～10月31日(17日間) ・幟設置、街頭放送による啓蒙及びポスター等の実施
- ・独居老人防火訪問PR 実施戸数 0 戸 内在宅 0 戸(実施延べ日数 0 日間)

## 2 消防団に要した主な経費

20,361,006円

・報酬	2,867,000円	消防団員年報酬
・報償費	134,512円	消防団員勤続、精勤表彰及び退団者記念品等
・旅費	7,171,200円	災害出動、各種訓練及び各種会議における費用弁償、研修等の旅費
・需用費	2,931,702円	消耗品代、暖房代、電気代、備品修繕料、車両燃料代、車両修繕代、災害時等賄代 (燃料費…第2分団詰所燃料代 31,543円) (電気料…第2分団詰所電気料 164,216円) (車両燃料費…軽油805.38ℓ 89,537円、ガソリン1,079.98ℓ 139,851円 合計229,388円)
・役務費	485,405円	電話料、建物損害保険料、自賠責保険料、自動車損害保険料、筆耕料
・委託料	624,090円	消防団員健康診断料、第2分団詰所灯油タンク洗浄
・使用料及び賃借料	24,078円	NHK放送受信料、携帯型デジタルトランシーバー電波利用料
・備品購入費	3,205,729円	消防団員貸与被服等、消防団車両積載機械器具等、団員輸送用バス償還金
・負担金補助及び交付金	2,427,290円	研修会義負担金、市町村総合事務組合負担金、消防協会分担金
・公課費	490,000円	消防団車両自動車重量税

## 3 消防団業務に要した消防職員時間外 74時間

- ・会議 4時間
- ・訓練 59時間
- ・事務 3時間
- ・その他 2時間
- ・後援会 6時間

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名				
8	消費費	1	3	3	消費費	災害対策費	010109	地域防災対策事業

事務事業名	地域防災対策事業
-------	----------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)	芽室町地域防災計画及び災害備蓄品整備計画、また、様々な計画に基づき防災対策の整備や備蓄品の配備、管理を進める。さらには、各種訓練を実施し、地域防災対策の促進を図る。
2. 対象(何を対象にしているか)	全町民
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)	町民の防災意識を高め、個々及び自主防災組織として災害時の活動が実施できるよう促進する。また、防災対策の整備を進め、町民に対する防災、減災に努める。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題	昨今、自然災害は東日本大震災及び九州北部豪雨、さらには北海道胆振東部地震など全国各地で大規模な災害が発生しており、国、都道府県、市町村において災害に備えるべく「防災・減災」対策に取り組んでいる。本町は、地域住民へ災害時の情報伝達を的確かつ迅速に対応するべく「災害告知用戸別端末(防災ラジオ)」を整備し、浸水想定区域内居住世帯、避難行動要支援者が居住する世帯、農村世帯などを優先に配付し、令和2年度には配付を希望する世帯に配付した。また、「自助・共助」の重要性を確認するべく「水害想定訓練」、「地震想定訓練」、「冬の避難体験・宿泊体験会」を実施し、地域住民の防災意識の向上に努めているが、参加者が主体となる訓練内容が求められている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)	昨今の様々な自然災害等により、国、都道府県、市町村においてそれぞれが防災体制の構築に取り組んでいる。本町においても平成28年に発生した「台風10号」、また、平成30年に発生した「北海道胆振東部地震」の教訓を生かし「防災・減災」対策を行う。平成30年度より配付を開始した「災害告知用戸別端末(防災ラジオ)」は、令和2年度より配付を希望する全世帯に配付している。令和3年度からは、配付対象世帯の未配付世帯に対し、災害告知用戸別端末(防災ラジオ)の必要性を再周知し、配付へと繋げる。また、各種防災訓練は、災害協定を締結している企業や団体と連携を図り参加者が主体となる訓練を継続し実施する。さらには、大規模な災害が発生した際に備蓄品や支援物資を円滑に搬出・搬入ができるよう、令和2年度に「防災拠点備蓄倉庫」を整備したことから、「芽室町備蓄品整備計画」を基に本町の備蓄品の整備にも繋げる。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	2,200,000	2,800,000	2,800,000
		地方債	円	6,100,000	132,300,000	
		その他(使用料等)	円	2,462,620	3,362,139	2,760,000
		一般財源	円	31,579,470	51,794,565	21,706,000
		事業費計(A)	円	42,342,090	190,256,704	27,266,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
人工数(業務量)		人工	1.1157	0.8058		
人件費計(B)		円	8,946,184	6,395,973		
		トータルコスト(A+B)	円	51,288,274	196,652,677	
活動指標	防災訓練		回	4	1	2

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細説名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
寄附金管理基金繰入金	円	20,000	2,861,334	2,286,000
地域気象観測所維持業務委託料	円	20,000	28,000	20,000
電気使用料(災害対策費)	円	30,456	28,308	28,000
市町村まちづくり研修会開催支援金(災害対策費)	円			
会計年度任用職員労働保険料個人負担金	円	446,164	444,497	426,000
備蓄品整備事業道補助金	円	2,200,000	2,800,000	2,800,000
市町村振興協会地域振興助成金(災害対策費)	円	1,946,000		
防災拠点倉庫整備事業債	円		128,700,000	
北海道総合行政情報ネットワーク改修事業債	円		3,600,000	
行政文書複写料	円	5,070		
同報デジタル無線整備事業債	円	324,500,000		
避難所公衆無線整備事業債	円	1,600,000		

## 事務事業の成果に関する説明

## 【事業実施概要】

## 1 防災訓練の実施

新型コロナウイルス感染症を考慮した避難所開設・運営訓練

(1) 訓練実施日 令和2年7月11日(土)

(2) 訓練内容 台風接近による水害を想定し、新型コロナウイルス感染症を考慮した避難所の開設及び運営における訓練を実施。避難者のトリアージや避難スペースにおける飛沫感染対策を実施したことで、本町の「避難所運営・開設マニュアル」の改訂へ繋げた。

## 2 自主防災組織の結成

(1) 出前講座の実施(町内会に対し説明) 4回

(2) 設立団体数 22団体(令和3年3月31日現在)

## 3 防災教育の実施

(1) 芽室中学校 (令和2年10月14日、令和3年3月1日～4日 実施)

(2) 芽室西中学校 (令和3年2月24日 実施)

(3) 芽室高等学校 (令和2年11月2日 実施)

## 4 防災用備蓄品等の購入

(1) 備蓄食糧品 食料品、飲料水ほか 1,970,503円

(2) 避難所用消耗品 段ボールベッドほか 2,547,591円

(3) 防災対策用備品 投光器、リアカーほか 1,155,000円

## 5 防災拠点倉庫建設工事

128,700,000円

## 6 災害告知用戸別端末(防災ラジオ)の配付

(1) 配付を希望する世帯への配付 22,770,000円

(2) 災害告知用戸別端末配付状況(令和3年3月31日現在)

		A	B	C	C/A	(B+C)/A
		対象世帯数	不要世帯数	配付数	純配付率	総処理率
1	浸水想定区域	1,565	71	1,336	85.37%	89.90%
2	農村地区	1,250	152	788	63.04%	75.20%
3	避難行動要支援者	685	19	400	58.39%	61.17%
4	市街地一般	1,808	92	1,324	73.23%	78.32%
	合計	5,308	334	3,848	72.49%	78.79%

## 7 芽室町地域防災計画の改正

令和3年3月22日(月) 第1回芽室町防災会議(書面開催)

## 8 めむろ安心メールの配信

町にメールアドレスを登録した町民に対し、災害情報等を配信している。

令和2年度は、59件の情報を配信した。(令和3年3月31日現在 登録件数 2,960件)

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室町防災拠点 倉庫建設工事 防災に係る倉庫の 建設工事	128,700,000		128,700,000			萩原・丸富士三浦 特定建設工事 共同企業体 R2.7.1~R2.11.30
合 計	128,700,000		128,700,000			

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
8	消防費	1	4	消防施設費	010901	防火水槽管理事務

事務事業名	防火水槽管理事務
-------	----------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 災害に備える重要な消防水利である防火水槽を計画的に維持管理する。
2. 対象(何を対象にしているか) 防火水槽
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 防火水槽の新設、撤去、点検、部品購入等、計画的に維持管理することによって、町内の災害に備える消防水利を確保したい。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町内の既設防火水槽の更新は、設置から60年目を迎えるものを撤去及び新設して更新する計画としている。 震災時には停電や水道設備の被害により、消火栓が使用できない可能性が高く、消火栓以外の消防水利の整備が重要になるが、既設防火水槽のうち、約半数が耐震性を有していない。そのため、老朽防火水槽の更新時に耐震性を有するものへ更新する必要があるが、施工した60年前から周辺の環境も変化しているため、道路下に埋設している防火水槽の同一場所での入替工事は、付近の建物等に影響が出る恐れから困難となる可能性がある。 今後、設置場所の選定や撤去及び新設をして更新するのか、長寿命化措置を講じていくのか、環境土木課と協議が必要である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 2021年度以降、設置可能な場所の調査、老朽防火水槽の補修や補強または継続使用等を含めて環境土木課と協議する。また、政策推進課(起債)やとちがち広域消防局(消防水利の基準)とも協議して計画を進める。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円	9,700,000	10,800,000	
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	2,344,298	215,400	127,000
		事業費計(A)	円	12,044,298	11,015,400	127,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	5	5
		人工数(業務量)	人工			
人件費計(B)		円				
		トータルコスト(A+B)	円	12,044,298	11,015,400	
活動指標	防火水槽設置・更新		基	1	1	
	防火水槽修繕		基	1	1	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
防火水槽整備事業債	円	9,700,000	10,800,000	
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## ◎11. 需用費 (単位:円)

事業名及び事業内容	事業費	財 源 内 訳				備 考
		国・道支出金	起 債	その他	一般財源	
防火水槽修繕	125,400				125,400	
小 計	125,400				125,400	

## ◎15. 工事費 (単位:円)

事業名及び事業内容	事業費	財 源 内 訳				備 考
		国・道支出金	起 債	その他	一般財源	
防火水槽設置工事	10,890,000		10,800,000		90,000	
防火水槽撤去工事	0				0	
小 計	10,890,000		10,800,000		90,000	
合 計	11,015,400		10,800,000		215,400	

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
防火水槽設置工事 芽室町東8条8丁目 (弥生児童公園敷地内) 40t級1基	10,890,000		10,800,000		90,000	(株)中田組 R2.6.1~R2.9.30
合計	10,890,000		10,800,000		90,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
8	消防費	1	4	消防施設費	010902	芽室消防庁舎維持管理事業

事務事業名 芽室消防庁舎維持管理事業

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

災害拠点となる消防庁舎を維持管理する。

## 2. 対象(何を対象にしているか)

消防庁舎

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

建物、設備、機械等の維持管理

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

町の財産である消防庁舎の維持管理を負担金事業の芽室消防施設整備事業から切り離し、芽室消防庁舎維持管理事業を新たに立ち上げ、芽室消防庁舎老朽改修工事計画を芽室消防庁舎維持管理計画と変更し2019年度から防災拠点としての消防庁舎の機能を発揮するため庁舎、設備、機械等の維持管理を行う。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

地震・洪水・台風等の災害が絶えず発生する現状において防災拠点である消防庁舎の維持管理は欠かすことのできないことから老朽改修を行うとともに庁舎の機能の維持を行う。

2022年度は、暖房設備改修工事

2023年度は、壁紙・天井・床改修工事、照明器具改修工事、車庫内壁・天井塗装工事、車庫内排煙設備工事を予定している。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	16,500,000	5,000,000	
		一般財源	円	8,080,800	304,750	
		事業費計(A)	円	24,580,800	5,304,750	
	人件費	正職員従事人数	人	5	6	5
		人工数(業務量)	人工			
人件費計(B)		円				
		トータルコスト(A+B)	円	24,580,800	5,304,750	
活動指標						

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
公共施設整備基金繰入金	円	16,500,000	5,000,000	
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 【事業実施概要】

## 1 役場ネットワーク接続設定委託

役場ネットワークを従来使用していた有線LANから無線APに変更するため接続設定委託を行ったもの。  
当初予定していた有線LAN工事を行わず、消防組合ネットワーク運用に伴い不要となったADSLの無線APに接続することでコスト削減に繋がることから、早急な接続設定委託が必要と判断し、予備費から充用して実施したもの。

## 2 収納棚設置工事

消防職員の増加に伴い、洗面用具等を収納している既存の収納棚では数量が不足するため、10名分の洗面用具等を収納することが出来る棚を設置したもの。

## 3 役場内線電話撤去工事

役場新庁舎移転に伴い、従来使用していた内線電話が廃止となったため、消防庁舎内にある役場内線電話を撤去したもの。なお、消防庁舎事務室床改修工事に併せて実施することで作業の効率化が図れ、コスト削減に繋がることから早急な撤去が必要と判断し、予備費から充用して実施したもの。

## 4 消防庁舎事務室床改修工事

消防庁舎事務室は、電話線及び電気配線、インターネット回線等が床に露出しており、断線による通信障害や通行障害等の発生が予測される状況であった。また、消防職員の増加に伴い、事務室のデスク配置が現在の配線配置状況では困難な状況であることから、配線の移設及び増設等が容易に可能となるOAフロア化工事を実施したもの。

## ◎12. 委託料

(単位:円)

事業名及び事業内容	事業費	財 源 内 訳				備 考
		国・道支出金	起 債	その他	一般財源	
役場ネットワーク接続設定委託	121,000				121,000	
小 計	121,000				121,000	

## ◎14. 工事請負費

(単位:円)

事業名及び事業内容	事業費	財 源 内 訳				備 考
		国・道支出金	起 債	その他	一般財源	
収納棚設置工事	249,700			105,000	144,700	
役場内線電話撤去工事	39,050				39,050	
消防庁舎事務室床改修工事	4,895,000			4,895,000		
小 計	5,183,750			5,000,000	183,750	

合 計	5,304,750			5,000,000	304,750	
-----	-----------	--	--	-----------	---------	--

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
収納棚設置工事 収納棚設置	249,700			105,000	144,700	㈱佐野工務店 R2.6.3~R2.6.24
役場内線電話 撤去工事 内線電話撤去	39,050				39,050	北原通信㈱ R3.1.15~R3.1.18
消防庁舎事務室 床改修工事 事務室床改修	4,895,000			4,895,000		道東ブロック㈱ R3.1.25~R3.3.26
合計	5,183,750			5,000,000	183,750	